

目指す学校像		◆就労を目指し、自己実現のできる学校【生徒】 ◆挑戦し続け、成長の喜びと感動のある学校【生徒・職員・保護者】 ◆地域や企業と共に、よりよい社会創りに貢献できる学校【地域・企業等】 < R 3 スローガン> 『 Be a m b i t i o u s ! (大志を抱け) 』 KOUTOKUスタンダード 『 Keep on Smiling 』 & 『 Be a role Model 』& 『 Only one in Japan 』 (笑顔でいこう)			
--------	--	--	--	--	--

		「進路の手引き（本校作成物）」を活用した就労（障害者雇用や職業生活等）に関する情報提供及びキャリアパスポートを活用した生徒一人一人のキャリア形成支援の充実を図る。	⑨⑪	A	A	活用した指導の充実を図り、生徒の適正就労に向けて関係職員で情報共有をしていく。 ・事業所との連携に向けて、HPの充実やWEBの活用を図っていく。
		社会情勢や企業の視点に立った職業教育の充実を図る。	⑨	B		
	関係機関との連携を図り、卒業生支援の充実を図る。	関係機関（生活支援センター等）との情報共有を図り、卒業生の状況把握及び職場への定着を促進する。	⑨⑪	B		
		卒業生の継続的就労を支援するための就労先との更なる連携強化を図る。 （必要に応じた移行支援会議、卒業生支援会議の実施）	⑨⑪	A		
保健指導部	学校医等との連携を図り、新型コロナウイルス感染症予防対策の徹底を図る。	学校医等と連携を密にし、感染症予防対策の確認・徹底に努める。	①	A	A	（課題） ・慣れによる危機管理意識の薄れ →生徒・職員の危機管理意識が持続できるよう、必要に応じて再度確認をしたり情報を発信したりする。 （継続） ・状況に応じた対応による、感染症予防対策の徹底
		毎日の健康観察を強化し、個に応じた保健教育を実施する。	①②	A		
		給食の配膳（衛生面）及び摂食時の指導を徹底し、感染予防に努める。	①②	A		
		定期的な校内の消毒を実施し、感染予防に努める。	①	A		
	学校安全の充実に努める。	校内救急体制のシミュレーションを実施し、教員の危機管理意識の向上に努める。	①	A		
		感染症対策や衛生管理を徹底し、安心・安全な給食の提供に努める。	①	A		
		掃除用具の管理や生徒・職員による清掃、教室の温湿度管理等を行い、学校安全の充実に努める。	①	A		
	生徒の実態を把握し、生徒に応じた主体的健康管理能力の向上に努める。	学校ホームページを活用し、健康に関する情報発信を行い、健康意識の向上に努める。	②⑧	A		
		「食に関する調査」を行い結果を分析し、個に応じた食育指導を工夫する。	②	A		
		自己の健康目標の設定、自己評価を実施し、主体的健康管理能力の向上を図る。	②	A		
生徒指導部	予防的な生徒指導実践のための、早期段階での情報収集及び生徒自身による気持ちの自己コントロール意識の育成を図る。	ミーティングによる早期段階での情報収集をする。	②	B	B	（課題） ・出張等で部員不在時の生徒情報共有 ・生徒が心を自分でコントロールする。 （改善策） ・部員がミーティングの記録を自由に閲覧できる環境作り ・なりたい自分を意識できる言葉かけ
		生徒自身による気持ちの自己コントロール意識の育成をねらいとしたハートバランスシートを活用する。	②	B		
		学校生活のきまりの見直しをすすめる。 インターネット（SNS）に関する指導の充実を図る。	②	B		
	安全やマナーについて生徒自身が考え、実践することを目指す通学指導を実施する。	公共の場所（電車・駅等）での安全・マナーの向上を目指した登下校指を実施する。 天候に対応した登下校指導を実施する。 交通安全指導を実施する。	①②	A		
渉外部門 PTA部	保護者との連携を密にし、新型コロナウイルス感染症拡大防止を踏まえた計画的な委員会の開催とスムーズな調整・運用を図る。	本部役員、学年委員、常設委員同士との連絡を定期的にとり、新型コロナウイルス感染症拡大防止を踏まえた各委員会の開催の調整と協議内容の確認をし、共通理解を図る。	①⑧⑩	B	B	（課題） コロナ禍で学校行事やPTA活動が出来なかった。 （改善策） ・PTA役員・委員への連絡手段としての案メの活用への推進。 ・オンライン会議できるように整備していきたい。
		会議での意見、情報交換を生かした議事決定と、様々な事務手続きの簡潔化を図ることでスムーズな運営を目指す。	①⑦⑧	B		
	新型コロナウイルス感染症拡大防止を踏まえたPTA事業内容の工夫と保護者参加率の向上に努める。	ニーズ及び新型コロナウイルス感染症拡大防止を踏まえたPTA事業内容の工夫（安全を考慮した）と参加率向上を目指す。 PTA行事のホームページ掲載や広報誌等による積極的な情報発信をすすめる。	①②③ ⑧	C B		
	茨特P連や茨知P連、全知P連や関知P連等研修会への参加と報告及び情報交換を図る（リモートを含む）。	PTA諸団体行事や研修会等への計画的な参加と報告及び情報交換を実施する。 主催者からの連絡事項のスムーズな伝達・調整（リモートを含む）を図る。	①⑨⑩	A		
	諸団体部	外部団体主催の行事への参加をととして本校の教育活動の理解啓発を図る。	ナイスハート、高等学校文化連盟、特体連スポーツ大会、特教研等では主催者の意向を踏まえ新しい方法の参加方法を検討する。	⑤⑧		
舎務部門	学校や家庭と連携し、情報の共有を図りながら、実態や課題に即した指導を行う。生徒の心に寄り添うとともに、課題解決のために、自ら考え主体的に行動できる力を身に付けられる支援を継続して行う。	個別の指導計画（自己管理能力評価票）を作成し、学校・家庭と連携した指導・支援をする。 課題や目標を生徒と指導員で共有できるサポートレシピを活用し、課題解決のための支援を日常的に行っていく。 生徒の心の動きや変化等を把握するため、トーキングタイムやおしゃべりタイムを適宜実施する。	②⑥	B	A	（課題） 寄宿舎生活に対応することが難しい生徒に対するの対応。 （改善策） 個別対応できる体制を確立し、手立てを講じていけるようにする。
		生活スキル検定やマイタイムをととし、生活技術力の獲得や定着等、主体的自己管理能力の育成を図る。	②⑥	A		
	自治会活動をととして、生徒の共同・協働活動の充実を図る。	生徒が自発的、主体的に取り組むための活動内容について、見直しを図る。	⑦	B		
		体験活動や日々の生活場面では、生徒同士が協力し交流できるような場面を設けることで、協力する心や思いやりの心を育てる。	⑩⑫	A		
	集団の一員として自覚をもち、主体的に健康や安全を意識した生活習慣を身に付けられるように指導するとともに、寄宿舎の衛生管理や環境整備に努める。	掲示物やチェック表を活用し、感染の防止や予防への基本的な対策を徹底する。	①②	A		
		登校、就寝後の消毒等による衛生管理や、密集を避けるための日課調整を行う。	①	A		
事務部門	施設に起因する学校事故を防止する。	施設が安全な状態を常に意識できる点検内容を作成し、実施することで不具合等の危険箇所を早期発見、改善することで、学校事故を防止する。	①	B	B	（課題）施設設備の修繕対応が多く、劣化や故障の可能性の予測まで対応が出来ていない。 （改善策）職員によるこまめな施設設備の点検により、軽微な状態のうちに修繕をし、後手に回らない。
	学校景観の維持、安全性を確保する。	芝や植栽等の校地について管理計画を立て、気候等の変化に応じた対処を加え実施し、整った景観を維持することで、安全性を確保する。	①	A		
	設備の故障等による学校生活への支障を予防と建物・設備の老朽化に対する保全を図る。	建物の経年劣化等の現状把握と今後の予測を踏まえ、施設の中期的な整備計画を立てることで、躯体への影響を最小限に抑える。	①	B		
		設備の耐用、経過年数及び使用状況等から、劣化や故障の可能性を予測し、予防修繕を進めることで学校生活への支障の予防、設備の老朽化に対する保全を図る。	①	B		
1年	体温測定や体調チェックをととして、通常健康状態を知るとともに、健康的に過ごすための衛生管理を身に付ける。	毎日の体温・体調チェックを実施し、自己の健康な状態を把握できるようにする。また、身だしなみや歯磨き、手洗いを習慣化し、自己管理の基礎を学ぶ。	①②⑥	B	B	（課題） ・自律に必要な力の育成 ・家庭との連携 （改善策） ・具体的な生活場面の中で自分自身で目標設定にできるよう授業内容をさらに充実させていく。 ・保護者と共通理解を図りながら家庭での実践も促していく。
		校内実習やデュアル型現場実習、短期集中型現場実習での働く体験の中から、社会的・職業的自立に必要な態度や規範意識の大切さを学ぶ。	④⑨⑪	A		
	家庭や寄宿舎との連携を深め、生徒の実態・課題の共通理解をもち、同じ視点で支援をする。	個別面談、学年便り、日誌の供覧や内容の充実を図り、家庭との連携を密にする。 寄宿舎のフォーカスデータシートを活用し、早期に課題の共有化を図ることで、具体的な支援方法を確認し合って早期解決を行う。	①③④⑩	B		
		実態に即した学習をととして、基礎的学力の定着を図り、達成感や自己肯定感を育てる。	自立活動の視点を各教科に取り入れ、グルーピング、板書や発問の仕方、ワークシートの工夫等、授業内容の充実を図り、自ら考え選択したり、意見を伝えたりする活動を数多く設定した授業を実践する。	①②④⑤⑩		
2年	体調管理や感染症の予防に自主的に努める方法を学び、基本的な生活習慣を維持する中で実践できる。	バランスの良い食事、適度な睡眠・運動を心がけ、健康な生活習慣を維持できるスキルを学ぶ。 手洗い・消毒を含めた衛生管理やパーソナルスペース等のマナーを身に付ける。	①②⑥	A	A	（課題） 生徒が主体的に取り組む活動量を増やす。 （改善策） 学習面から経験を増やす場面を多く設定する。
		現場実習やジョブスタディの学習をととして、自立活動の視点から自己理解を促進する。キャリアパスポートを活用し、自己の振り返りができる機会を持つ。現場実習をととして、職業適性や課題を確認し、個々に応じた進路指導に努める。	④⑤⑨⑩⑪	B		
	主体的に課題解決に取り組む態度を育て、社会人として必要な基礎・基本となる学習内容の定着を図る。	学習グループや課題に応じた学習内容・板書や発問、ワークシートの工夫等を実施する。自ら選択したり、意見を述べたりできる活動を取り入れ、主体的な学習を進め、「できた」「やってみよう」という体験を重ねる。	④⑤	A		
		集団生活における好ましい対人関係を養う。	トーキングタイムを実施し、生徒の心身の状態を把握・職員間で共有し、指導全般に生かす。他の集団（クラス・コース・学年・学校等）との交流や発表の機会をつくる。	①②⑦⑩⑫		
3年	社会自立に向けて生活スキルの向上を図るとともに、社会人として健康な生活を送ることができる習慣を身に付ける。	気持ちの良いあいさつ、バランスの良い食事や適度な運動を心掛け、健康な生活習慣を身に付ける。また、こまめに手洗いや消毒、マスクを正しく着用する習慣を身に付け感染症予防に努める。	①②⑥	A	A	（課題） 働き続けるための知識・技能・態度を学ぶ機会のさらなる確保 （改善策） 卒業生を招き、体験談を学ぶ機会をつくる。
		卒業後の生活をイメージし、働き続けるために必要な知識及び技能・態度を身に付ける。	現場実習やジョブスタディの学習をととして、自己理解を深めながら職業人としての意識を育て、働き続けるための知識や技能、態度を学ぶ機会を設ける。	④⑨⑪		
	自己肯定感や自己有用感を育て、新しいことに積極的に挑戦する態度を養う。	「やってみる」「できた」体験を多く取り入れ、様々な活動を体験させることで新たな挑戦への気持ちを育み、積極的に学習活動に取り組める環境を整える。	④⑤⑦⑫	A		
		トーキングタイムを定期的実施し、的確な支援を行う。	生徒とテーマを決めずに会話する時間を設け、心身の状態を的確に把握して、生徒の抱えた問題を早期に発見し、職員間で情報を共有し支援する。	①②⑩		